

高齢者の補聴器購入費用の助成を求める請願

【請願要旨】

高齢者「難聴」の人が増えています。難聴により対話が困難になると人と会うのを避けるようになり、認知症のリスクが大きくなると言われています。

しかし、補聴器がたいへん高額であったり、聞きにくかったり、付けずにいる人も多く、日本での補聴器の利用率は、14%とかなり低くアメリカの2分の1、イギリスの3分の1程度で、「難聴」は高齢者にとって大きな障害です。

難聴の高齢者にとって重要なことは、第1に、耳の検査を専門医で受け、専門技師のいる店で補聴器を買い、十分な調整と使用訓練が必要なこと周知することが必要です。

第2に、補聴器が高額で、片耳で数万円から20万円を超え、両耳ではたいへんな金額となることで、低所得の高齢者にとっては、なかなか手の届かないものとなっており、この点からも補聴器購入に対し公的な補助が必要となっています。

高齢者の補聴器購入について、19年12月の町田市議会に国と東京都に公的補助の意見書提出を求める請願を当会として提出しましたが、すでに都内23区では、墨田区、大田区、葛飾区など9区で2万円から3万5千円程度の補助制度があり、町田市でもぜひ購入費用の助成制度を設けて頂きたいと思えます。

【請願項目】

- 1 高齢者の補聴器購入費用の助成制度を設けてください。